



## 冬期間の交流人口拡大を

遠藤 宏司 議員

冬のイベントなどは簡単にできない

町長



通年通行をどう活かす?!(記念式典)

### 冬期間の活性化 取組みは

国道347号が通年通行可能になった。農産物生産者や商業者、イベント主催者などと行政が連携、交流人口を拡大し、冬期間のまちの活性化に取り組む考えはないか。

町長 町外の人を呼ぶには非常に大がかりなものにしなければならず、冬のイベントは非常に難しい。

町長 里山スキー場はすでに廃止していることから、質問自体に答弁できない。

過去の実績から1万人以上の誘客は十分可能と思うがどうか。

町長 スキー人口は減少しており、今のところ再開の意思はない。

### いじめ・不登校の 実態と対策は

「問題行動調査」はどのように実施したのか。

教育長 文部科学省が毎年、都道府県及び市町村教育委員会を通じて学校に調査票を配布し、い



楽しい学校生活を!

じめなどの状況等について調査している。

当町における調査の結果はどうだったのか。

教育長 いじめの認知件数は前年度より、小学校は増加し、中学校は減少した。不登校の割合は少数であるが、前年より若干増加した。

児童生徒や保護者からの相談への対応は。

教育長 児童生徒は、学級担任または養護教諭に相談するケースがほとんどである。いじめを認知した場合は、町基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針に従い解消に努めている。いじめの解消率は小学校99.8%、中学校99.9%。「重大事態」は発生しておらず、安堵している。



## 運転免許証の自主返納に取組み

小玉 勇 議員

## 返納時の支援策を検討する

町長

運転免許の自主返納者への特典(近隣市町)	
尾花沢市	市営バスの回数券を2千円分交付
村山市	市営バス乗車券、乗り合いタクシー乗車券、楯岡交通タクシー券のいずれかを3万円分、あるいは山交バスの1ヶ月定期を3カ月分交付
東根市	市内のタクシー会社2社で使える共通乗車券を2万円分交付
河北町	町営バスの1年間無料乗車券を交付。更新可
大江町	町営バスかデマンドタクシー3年間無料乗車券、県タクシー共通乗車券が山交バス普通乗車券2万円分の4種類のうち一つを交付
朝日町	県タクシー共通券、山交バス普通乗車券、デマンドタクシー乗車券のいずれかを2万円分交付

### 高齢者の事故対策

高齢者ドライバーによる事故が相次いでいるが対策を考えているのか。

町長 免許証の事務は公安委員会がする。町では認知機能低下などにより車を運転しなくなる高齢者の移動支援や交通対策を充実していくことになる。

現状の支援は。

町長 毎週月曜日と毎月15日に定期運行している無料の「福祉バス」と70歳以上で車を持たない住民を対象とする「高齢者タクシー事業」がある。今後どうするのか。

町長 高齢者が車を持たなくても不安なく安心して生活できるように現行

### 認知症カフェ

の移動支援とともに免許証自主返納時の支援を検討していく。

町長 仁風荘内に地域交流カフェ「かぜ」が開設された。月1回程度オープンし家に閉じこもりがちな高齢者に交流の場を提供して認知症予防につなげている。

町独自ではなにをしているのか。

町長 「いきいき百歳体操」をきっかけに「地域づくりによる介護予防」を推進しており現在朝日町老人クラブなどか所

### 個性のある町とは

国道347号が通年通行可能になった。どんな町にしていくのか。

町長 山形県宮城県の間

で体操を定期的に行っている。

認知症の学習については、町長 正しい知識を身につけてもらうため平成23年度から「認知症サポーター養成講座」を開催し、これまで470名が受講している。特に大石田中学校では平成26年度から毎年1年生を対象に養成講座を実施している。

係4市町で組織している「絆」交流推進協議会では、多様な連携を通して交流人口の拡大を図り、それぞれの資源を活用した地域の活性化に努めていく。具体的には、

町長 住民が胸を張れる「本物」が必要不可欠だ。最上川による歴史・文化・景観、そして何よりも生産から取り組むそばや漬物を中心とした食文化は町民の自慢。これまでに以上一層磨きをかけて「もてなしの文化」を発信していく。



いきいき百歳体操!(上ノ原老人クラブ)